



もも と せ

NURSING HOME HYAKURAKUEN

[特集：クローズアップ百楽園③]

23人で支える、もうひとつの“百楽園”厚生院
— ユニットの力、連携の力 —



トピックス

- ・サテライト便り
- ・デイサービス便り
- ・居宅通信
- ・ウエス募集

[介護の現場は次のステージへ

— 百楽園、本体施設で A.I.Viewlife 本格稼働]

[ご家族とのコミュニケーションも次のステージへ

— 百楽園、CareLoop/LINE 公式アカウント本格稼働]

[百楽園、もっと身近に。

— Instagram・Facebook に続き、TikTok 始動!—]

[“もしも”の時も、“いつも”の安心も。ショートステイ百楽園という選択]

[土日も安心をお届けします — 電話対応体制のご案内 —]

クローズアップ百楽園③

23人で支える、もうひとつの“百楽園”— ユニットの力、連携の力 —

・金 介護主任 ・木崎 介護副主任 ・南木 介護福祉士(西ユニット担当) ・小関 介護福祉士(東ユニット担当)



三浦 介護支援専門員

インタビュー… 本日は、百楽園のもう一つの顔「サテライト百楽園」のスタッフ皆様にお話を伺いたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

サテスタッフ一同… よろしくお願ひいたします。

インタビュー… それではまず役割のお二人にお伺いします。サテライト百楽園の特徴と本体施設との違い、サテライトならではの強みを簡単に教えてください。

金… 本体施設では定員が100名程度と規模が大きく、個室と多床室があり、食事や入浴などを定の時間に合わせて行う事が多く、集団でのケアになりやすい特徴があります。一方、サテライトは29名と小規模で全室個室の為、入居者一人ひとりの生活に寄り添ったケアを行いやすい環境です。また、職員と入居者が馴染みの関係を築きやすい特徴を持っています。現場の状況もありますが、入居者の思いを大切にしながら個別性を意識したケアに取り組んでいます。

木崎… 地域密着型の強みを活かし、ゲストお一人おひとりの生活リズムに寄り添った家庭的なユニットケアを提供できることだと思います。また、最新の見守りセンサー等のICT機器を導入することで、ゲストの安全確保と安全性を高めつつ、プライバシーを尊重した質の高いケアを実現している点が大きな強みではないかと思っています。

インタビュー… ありがとうございます。読者の方もある程度イメージ出来たのではないのでしょうか。次に、全23名のスタッフ規模で最も大切にしていることを教えてください。

金… 職員同士の連携と情報共有を大切にしています。少人数だからこそ、入居者人ひとりの生活背景や思いを職員全体で共有し、チームとして同じ方向性でケアを行う事が重要だと考えています。

木崎… 少数精鋭だからこそ、24時間シフトやビジネスチャットを活用した「情報共有のスピードと質」の改善を最優先としています。職員間の連携を深め、柔軟なサービスを提供できる体制を整え、「職員ファースト」こそが「ゲストファースト」を実現するための重要なプロセスであると認識し、全員がやりがいを感ずられる職場環境を構築しています。

インタビュー… なるほど。本体施設と違い、小規模だからこそ、より大切にしなければいけないこともありますよね。では、各ユニットの方々はどのように暮らしていますか。

南木… 西ユニットは、ユニットケアならではの落ち着いた空間でありながら、「人のにぎやかさ」が感じられるユニットです。好きな時間に好きな場所で、好きなことをして過ごす「そんな「ゲストの時間」と「空間づくり」を大切にしています。お部屋でゆっくり過ごす方もいれば、リビングの中でその時々気分に合わせて居場所を見つかる方も。そこかしこから、ゲストや職員の笑い声が聞こえてくるのが西ユニットの特徴です。ちなみに、ビッチビッチの女性職員が多いのも西ユニットのカラーの一つです(笑)。

小関… 東ユニットは平均年齢がほどよいメンバーで笑、ゲストの皆さんと日々賑やかに過ごしています。「自由を楽しむ」をコンセプトに、車椅子での散策やテレビ体操、洗濯物たたみなど、それぞれが思い思いに過ごせる時間を大切に支援しています。懐かしい歌を一緒に歌

・高田 介護福祉士(南ユニット担当) ・前 介護支援専門員 ・三浦 介護支援専門員



金 介護主任

ます。また、見守り機器を活用した効率的な業務改善により、ゲストと向き合う時間を確保しています。LIFE(科学的介護情報システム)のフィードバックデータの活用を進め、今後はケアプランへ反映させながら、より根拠に基づいた自立支援につなげていきたいと考えています。

インタビュー… 看取りや終末期ケアにおいて大切にしている姿勢は?

金… 看取りや終末期ケアでは、入居者が最期までその人らしく安心して過ごせることを大切にしています。ご本人の思いや生活を尊重しながら、ご家族や多職種と連携し、その人らしい最期を支えるケアを心掛けています。インタビュー… なるほど。ユニットケアだからこそその力が感じられますね!ありがとうございます。

続いて、ケアマネジャーのお二人に質問させていただきます。地域の方々には、夏祭り等の交流イベントを通して、より地域社会に開かれた存在として施設を知って頂く良い機会となっていると思います。また、読み聞かせ等のボランティアの受け入れも行っており、ゲストの方々の楽しみも増え、心身の維持や活性化にも繋がっていると思います。今後コロナ禍以前のように地域の子供たちとの交流の機会も増やしたいと思っています。

三浦… 夏祭りや七夕などは地域の方々や交流するとても貴重な機会だと思っています。季節の習わしなどを通じて交流できる事はゲストにとっても昔を思い出したり、懐かしい



木崎 介護副主任

う時間もあり、自然と笑顔が広がっています。

高田… 南ユニットは、穏かなユニットになっています。ゲストの皆様は無理なく、ゆったりとした生活を過ごしてもらっています。職員はゲストに対して常に声を掛け、コミュニケーションを図って、明るい雰囲気となっています。季節ごとに壁画を作成し、ゲストの方々にも季節感を感じ取ってもらえるようにしています。

インタビュー… ありがとうございます。小規模だからこそ連携も重要と考えますが、ユニット間の連携はどのように図っていますか?

小関… ICTを活用した記録の共有はもちろん、職員同士の声掛けや申し送り、カンファレンス等を通して直接情報を伝え合う事も重視しています。日々の小さな報告や相談を積み重ねることで、サテライト全体のゲストを支える体制が築けていると思います。

高田… 記録での申し送り、重要な事や緊急時などは直接各ユニットに行き伝え合っています。職員の人数の配置が限られているときは各ユニットで声を掛け合い、互に行き来を助けて合っています。一人に対応に困っているときなどは違うユニットから来て、声を掛けてもらい、サポートしてもらい助かっています。

南木… 情報共有は朝礼や会議、そして百楽園の強みであるICTの活用が中心です。しかし、30歩ほどで隣のユニットへ行ける距離。心配事や助けほしい時はもちろん、ゲストの変化を聞けばユニットの垣根を越えて声をかけ合い、自然に助け合っている。少人数体制のため普段なかなか会えない職員も、連携が、会えた時にとことん話すことも、連携を深める大切な時間だと思っています。



左から 南木 介護福祉士 小関 介護福祉士 高田 介護福祉士

と思いますか?

南木… 紹介文にも書かれているように、「ズバリ」(アットホームな場所)と思っ頂けていたら、嬉しく思います。自分らしく暮らし続けられる場所。少人数だから得られる馴染みの関係性や安心感。ゲスト一人ひとりに合わせたケアや関わり。ゲストの皆さんや、ご家族にあって、サテライト百楽園が、第2の家・第2の家族だと思っ頂けるような、温かい施設づくりを目指していきたいと思っています。

三浦… ズバリ「シカカ」です。サテライトは今年で10周年。多くの困難をスタッフ同士で支え合い乗り越えてきました。その経験に力に、これからの学び続け「進化」していきます。小規模で家庭的な雰囲気の中で個別ケアを実践できることが私たちの強みであり、その良さを活かして「真価」を発揮していきます。さらに新人職員も加わり、互いに尊重し合いながら成長することで介護の技術や思いも「深化」していきます。これからのサテライトの「シカカ」にぜひご期待ください。

インタビュー… スタッフ23名という規模だからこそ、スタッフ間の情報共有がしやすく、ゲストお一人おひとりをよく知り関わる事ができます。そうした馴染みの関係が築けることに、喜びややりがいを感しています。一方で、小規模ゆえに少ない職員配置の中で業務に追われ、ゲストと向き合う時間が十分に取れないと感じ、日々自問自答することもあります。そんな時はスタッフ同士で支え合いながら、より良いケアが届けられるよう職員一同で取り組んでいきたいと思っています。

小関… 小規模な環境はゲスト一人ひとりの状態や思いを丁寧に把握し寄り添ったケアを

気持ちになったりできる良い機会になっているのではないのでしょうか。昨年からアプリックスベイスを利用して移動販売など新しい取組も始まったので地域の方々にはお気軽に足を運んで頂き、お買い物を楽しみながら介護施設を身近に感じていただければと思っています。

インタビュー… では、ご家族との連携で心がけていることは?

三浦… ご家族が不安や心配事を話すことは、決して簡単なことではありません。信頼関係を築き、気兼ねなくお話しいただける存在でありたいと思っています。ご家族との十分な連携が、ゲストのより良い生活につながると思っています。面会時には動画や写真を用いて日々の様子や暮らしぶりを丁寧に伝え、安心していただけるよう心がけています。何気ない会話の中で「元気がよくなりました」「楽しかった」と笑顔で帰られるご家族の姿を見ると、ご家族にとっても心地よい場所でありたいと感じます。

前… 私たちサテライトのケアマネジャーは、介護スタッフと共にいつもゲストのそばで関わりを持ち、ご家族の来園時やお電話での問い合わせの際に、施設での様子をお伝えしながら、不安や心配事の軽減にも努めています。また、ご本人やご家族との何気ない会話の中から意向や情報を得る事でケアプランに活かして、より信頼関係が円滑に築けるよう心がけています。

インタビュー… ありがとうございます。ユニットケアという個性が求められるケアプラン作りは大変だと思います。これからの支援をお願いします。では、ここからは皆様伺います。ズバリ「サテライト百楽園らしさ」とは何だ



前 介護支援専門員

実践できる最大の魅力だと思っています。日常生活の細かな変化や体調の変化にも気付きやすく早期対応にも繋がります。一方で職員数が限られているため業務負担に偏りが生じ、負担が大きくなる可能性もあります。そのため職員間のコミュニケーションは必須であり、チームとして支え合いながら取り組んでいきたいと考えています。

インタビュー… では、最後にこれからの展望を伺います。これからのサテライト百楽園をどんな施設にしていきたいですか?

木崎… ゲストご家族、そして職員の心が通い、皆が「笑顔」で過ごせる施設を目指していきたいと思っています。常に新しい視点や革新的なアイデアを取り入れ、地域社会から真に必要な存在であり続け、地域に開かれた施設として、さらなる地域貢献活動にも積極的に参画していければと考えています。

インタビュー… 地域の方々へメッセージをお願いします。

金… 地域密着型の施設として、地域の皆様にとりて身近で安心できる存在でありたいと考えています。

これからの地域との繋がりを大切にしながら、入居者の方がその人らしく生活できる環境づくりを努めていきたいと思っています。

インタビュー… 皆さん長時間に渡りありがとうございました。これからも地域密着型施設としての役割を担えるよう、より一層のご活躍を期待しています。本日はお疲れ様でした!



面会お待ちしております!

インタビュー… ありがとうございます。簡単なようではなかなかなか行かないのが連携です。この世界でも連携の質で良くなる可能性があると思います。応援しています。

南木… 個別ケアは、特別なことではないと考えています。その人の人生や人となりを知り、理解し、どう向き合い寄り添えるかを考えること。その思いをケアへとつなげていくことが、個別ケアの第1歩です。コロナ禍明けには、その思いを形にする取り組みとして個別外出も実現しました。ユニットも職員配置も少人数という現状の中で、すべての思いに応えることは簡単ではありません。それでも、一つでも多くの思いを実現していくことがサテライトの目標です。

高田… 以前は集団ケアで介護業務を行っていましたが、昨年からユニットケアのサテライトに異動となりました。また十分に理解できていない部分もありましたが、サテライトはゲスト一人ひとりに個室があり、プライバシーが守られ、より自由な生活が送れていると感じています。職員にとってもゲストの様子を把握しやすく、小さな変化に気付きやすい環境です。体調や精神状態の変化に目を向けながら、その方らしい生活を支えていけることがサテライトの強みだと思います。

インタビュー… 重度化防止や自立支援に向けた取り組みで、特に力を入れていることを教えてください。

小関… ADLの維持・低下防止に向け、ゲスト一人ひとりの状態に合わせた取り組みを大切にしています。その基となるのが、個別ケアの土台となる24時間シフト(生活リズムシート)の活用です。自前でできることと介助が必要なることを整理し、過剰な介助にならない支援を心掛けています。コミュニケーションを通じてやりたいことや意向を生活の中に取り入れ、歌が好きな方の合唱や体を動かすゲームなど、ADLに合わせた個別レクリエーションも好評です。

木崎… リハビリ・栄養・口腔の専門職が密に連携し、生活リハビリの強化や個別外出支援を通じて生活意欲の向上に取り組んでいます。

「百楽園、もっと身近に。」

— Instagram・Facebookに続き、TikTok  始動！ —

百楽園では、これまで"Instagram"や"Facebook"を通じて、施設の日常や行事の様子を発信してきました。そしてこの度、新たに  TikTok をスタートします。



「日常を、丁寧に伝えてきました」

百楽園では、季節行事の様子、レクリエーション活動、職員の想い、採用情報などを定期的に発信。

ご家族や地域の皆さまから「施設の雰囲気を感じる」「安心できる」という声を多くいただいています。



なぜTikTokなのか？

「もっと“リアル”を届けるために」

TikTokでは、
 ✓ 何気ない日常のワンシーン
 ✓ 利用者さまの笑顔
 ✓ 職員の仕事風景
 ✓ ちょっとした裏側などを、
 短い動画でテンポよくお届けします。
 文章や写真だけでは伝わりにくい
 “空気感”や“温度”を発信していきます。

発信予定コンテンツ

- ✕ 今日のごはん
- 🎭 季節行事の舞台裏
- 🗣️ 職員インタビュー
- 💡 百楽園の“ちょっといい話”

まとめ

百楽園は、「見える介護」「開かれた施設」を目指します。SNSを通して、地域ともっとつながる。ご家族ともっと近づく。未来の仲間とも出会う。TikTokの開設は、InstagramとFacebookでお知らせします！まだの方は今すぐフォローしてくださいね！

今後の発信テーマ

📷【食事風景】



📷【リハビリ】



📷【レク】



📷【職員オフショット】



介護の現場は次のステージへ— 百楽園、本体施設でA.I.Viewlife本格稼働

これまで「サテライト百楽園」「短期入所生活介護事業所百楽園」において導入してきた見守り支援システムA.I.Viewlifeを、このたび本体施設にも導入いたしました。

A.I.Viewlifeは、居室内の利用者様の状態変化をセンサーで検知し、離床や体動の変化をリアルタイムで把握できるA.I.見守りシステムです。転倒リスクの早期察知や夜間帯の見守り強化により、事故予防と迅速な対応を可能にします。

本体施設への約2/3の導入により、百楽園全体で統一した見守り体制がほぼ整いました。職員の巡視負担軽減だけでなく、データの蓄積と活用により、科学的根拠に基づくケアの質向上も期待されています。

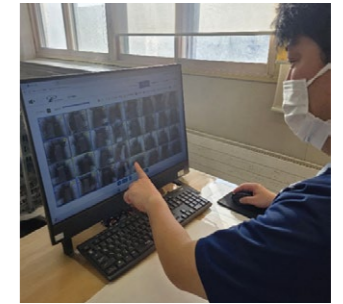
特に夜間帯においては、必要なタイミングでの的確な対応が可能となり、利用者様の睡眠を妨げない環境づくりにもつながっています。百楽園は今後も、テクノロジーの力を活かしながら、「安心」と「尊厳」を守る介護の実現を目指してまいります。

この場をお借りして、令和7年度介護ロボット導入支援事業でご支援ご協力賜りました北海道、関係各所の皆様方厚く御礼申し上げます。

A.I.Viewlifeによるリアルタイム見守り画面



夜間も利用者様の状態変化を的確に把握



ご家族とのコミュニケーションも次のステージへ— 百楽園、CareLoop本格稼働

令和7年度中旬から開始した介護コミュニケーション支援システム「CareLoop」が本格稼働し、ご家族との情報共有の新たな取り組みが始まりました。

CareLoopは、スマートフォンなどを通じて施設とご家族をつなぐサービスです。入所時やサービス利用時の各種計画書の同意取得を電子化し、ご家族の手続きの負担軽減と迅速な情報共有を図っています。また、LINE公式アカウントを活用し、日常の様子を動画でお届けする取り組みもスタートしました。

食事やレクリエーションなど、施設で過ごされている自然な表情や生活の一場面を映像でご覧いただくことで、「離れていても安心できる」とご家族からも好評をいただいています。百楽園では、これからもデジタル技術を活用しながら、ゲストとご家族に寄り添った安心できる施設運営を進めてまいります。



LINEアカウントで動画配信



「careloopいいですよ！」とご家族の反応も上々！



LINEに届いた通知



careloopマイページログイン後

サテライト便り — 「楽しかったね」が増える場所 —

サテライトでは、入居者様が季節の移ろいを感じながら笑顔で過ごせるよう、一年を通してさまざまな行事を行っています。春から夏にかけては、お花見ドライブや個別外出で外の空気に触れる時間を大切にしています。ヨーヨー釣りや運動会、サッカーPKゲームなど身体を動かすレクリエーションも多く、自然と笑顔が広がります。七夕には短冊に願いを込めました。夏は技能実習生との交流会や浴衣姿で踊る夏祭りが賑やかに開催。家庭菜園では、皆様が育てたじゃがいもや枝豆を収穫し、実りの喜びを分かち合いました。秋には紅葉ドライブで季節を楽しみ、作品展に向けた制作にも取り組んでいます。これからも、心に残るひとときを大切に積み重ねていきます。



デイサービス便り

— 「できる」を増やすデイサービスへ 作業療法士が加わり、機能訓練がさらに充実 —

デイサービスセンター百楽園では、利用者の皆さまが住み慣れた地域やご自宅での生活を少しでも長く続けられるよう、日々の支援を行っています。このたび新たに**作業療法士**が加わり、機能訓練の体制がさらに充実しました。作業療法士は、歩く・立つといった身体機能だけでなく、「食事」「着替え」「趣味を楽しむ」など、日常生活の動作に着目した訓練を行う専門職です。利用者一人ひとりの生活状況や目標に合わせ、無理なく取り組める**個別の機能訓練**を実施しています。また体操や脳トレの時間にも、楽しみながら体を動かせる工夫を取り入れ、自然と運動につながる時間づくりを大切にしています。利用者の皆さまからは「体を動かす機会が増えた」「家でも動きやすくなった」といった声も聞かれています。これからも専門職の知識を活かしながら、利用者の皆さまが**自分らしく安心して生活できる**よう、職員一同取り組んでまいります。



「もしも」の時も、「いつも」の安心も。ショートステイ百楽園という選択

ご家族の体調不良や急な用事、冠婚葬祭、そして「少しだけ休みたい」というお気持ち。在宅介護を続ける中で、そんな瞬間は決して特別なことではありません。短期入所生活介護事業所 ショートステイ百楽園 では、必要なときに、必要な期間だけご利用いただけるサービスを提供しています。

1泊2日からの短期利用はもちろん、定期的なご利用による介護負担の軽減にも対応しています。当施設では、日常生活支援(食事・入浴・排泄介助)に加え、機能訓練やレクリエーションも実施。住み慣れた地域での生活を継続できるよう、「その人らしさ」を大切に支援しています。また、医療機関や居宅介護支援事業所との連携体制も整えており、安心してご利用いただけます。ご相談や見学は随時受付中です。「まだ早いかな?」と思われる段階でも構いません。将来に備えた情報収集として、ぜひ一度お問い合わせください。



介護を“ひとりで抱え込まない”ために。
百楽園ショートステイが、地域のご家族を支えます。

土日も安心をお届けします — 電話対応体制のご案内 —

百楽園では、令和7年11月より土日の**電話受電体制を一部変更**いたしております。これまで通り、まずは当園職員が電話に対応いたします(概ね4コール以内)。しかし、ケア対応中や緊急業務等によりすぐに電話に出られない場合には、外部受電サービス「オフィス電話番(バルテック社)」のスタッフが対応させていただきます。担当者が在席し対応可能な場合は、そのまま転送して直接お話しいただけます。不在時や対応が難しい場合には、

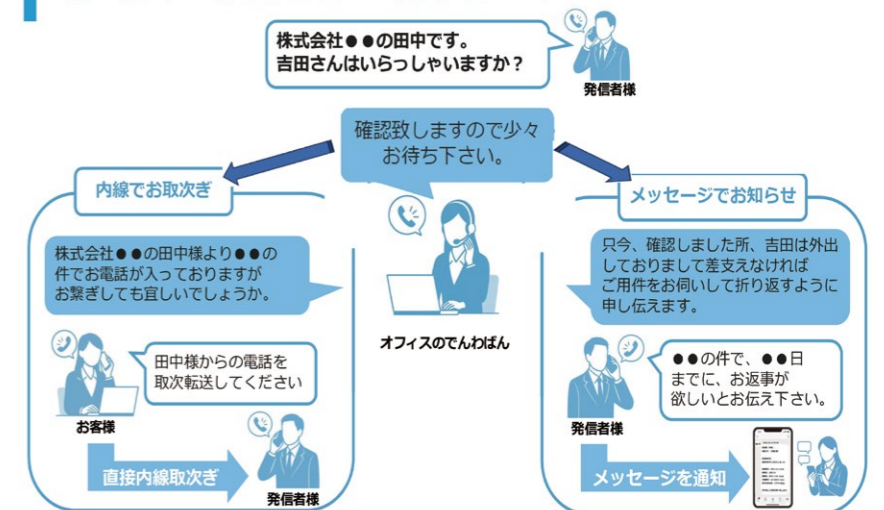
折り返しご連絡させていただく旨をご案内いたします。

ご用件によっては折り返しのご連絡や翌出勤日となり、お待たせしてしまう場合がございます。

ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、**ゲストの安全確保とケアの質を守るための取り組み**でございます。

皆様のご理解と温かいご協力を心よりお願い申し上げます。

オフィスのでんわばん 利用イメージ

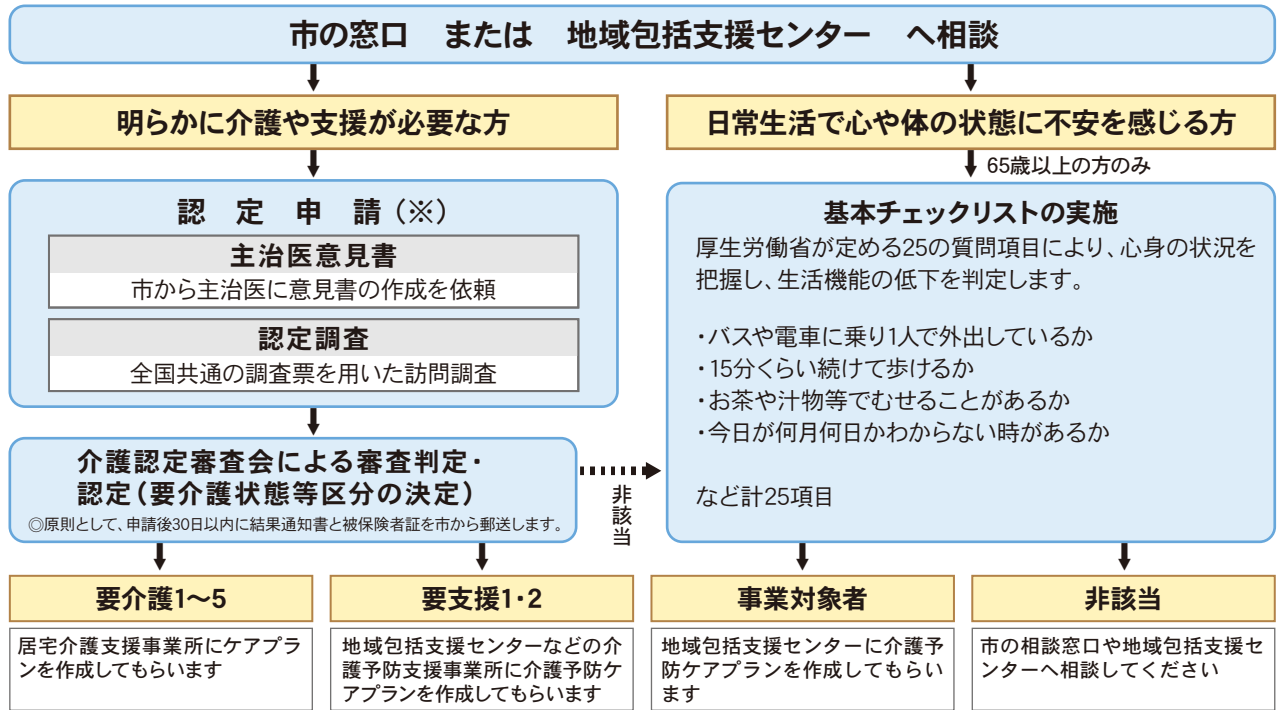


居宅通信

— 介護保険サービスを利用したいと思ったら… —

介護保険サービスを利用するには、どのくらいの介護が必要であるのか、事前に認定を受けることが必要です。

ケアマネージャーは認定手続きのお手伝いもできますので、お気軽にご相談ください！



募 集

**ご家庭に眠る古布が役立ちます！
ウエス募集のお知らせ**

使わなくなったタオルやシーツなどが、新たな用途で大活躍します！当施設では、清掃等に使用する「ウエス(雑巾代わりの布)」を募集しています。ご家庭で不要になった布製品をぜひご提供ください。

ウエスに適した布

- ✓ 綿素材の布(タオル、シーツなど)
- ✓ 洗濯済みで汚れが少ないもの
- ✓ ボタンやファスナーが付いていないもの(取り外せばOK)

ウエスに向かないもの

- ✗ 下着・肌着
- ✗ 化学繊維が多いもの(フリース・ナイロンなど)
- ✗ 汚れがひどいもの

ウエスを活用することで…

- 🌿 環境に優しい
→ 廃棄物を減らし、リサイクルに貢献！
- 🧹 施設の清掃や作業に役立つ
→ タオルなどが汚れ拭きとして活躍！
- 💡 誰でも簡単に支援できる
→ 不要な布を有効活用！

ご提供いただける方は、ご一報のうえ施設にお持ち込みください。
皆さまのご協力をお待ちしております！💚💡

🧵✨ **その一枚が、誰かを支える。**

ウエス切りボランティア募集！

使い古したタオルや衣類を、
“現場で使える一枚”に✂️

特別なスキルは不要。スキマ時間でOK！
あなたのひと手間が、介護現場を支えます。

🕒 短時間OK

👋 初めて歓迎！



「ちょっとやってみようかな」
その気持ち、大歓迎😊

👉 **お気軽にお問い合わせください！**